

CoC 非公式シナリオ寄稿企画
「ムーサ異装展覧界」参加作品

「潮騒に月見里」
from syzygy

目次

TABLE OF
CONTENTS

01.はじめに	01	■■■■■■■■■■	16
02.目次	01	■■■■■■■■■■	19
03.シナリオ背景	01	■■■■■■■■■■	21
04.KP向け補足情報	02	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	24
05.登場 NPC	03	■■■■■■■■■■	28
06.PL向け事前情報	05	■■■■■■■■■■	31
07.プロローグ	06	■■■■■■■■■■	34
08.導入	07	■■■■■■■■■■	36
	09	■■■■■■■■■■	37
	11	■■■■■■■■■■	39
	14	■■■■■■■■■■	
		21.クレジット・注意書き	39

01. はじめに

この度は当シナリオをお手に取っていただき、ありがとうございます。

こちらはクトゥルフ神話 TRPG(6版) 対応シナリオとなります。

このシナリオは、大正12年を舞台としたシナリオです。サブリ「クトゥルフと帝国」がなくても問題なく遊ぶことができますが、一部のシーンに「自然災害に関連する描写」を含みます。

難易度変更はご自由どうぞ。

また、このシナリオには神話生物および呪文に関する独自解釈が含まれます。ご了承くださいませ。

シナリオ内の記号

□ : 技能ロール

■ : 探索項目

略字一覧

KP : キーパー

PL : プレイヤー

PC : 探索者

RP : ロールプレイ

AF : アーティファクト

基本 : 基本ルールブック

MM : マレウス・モンストロルム

このシナリオ内では、コラムにキーパー向けの補足情報を掲載しています。キーパリングのヒントとして参照してください。

02. シナリオについて

シナリオ形式 : 大正シティ

プレイ人数 : 2~4人

プレイ時間 : 6~8時間

推奨技能 : 〈聞き耳〉〈回避〉

探索者条件 : 「女学生」限定

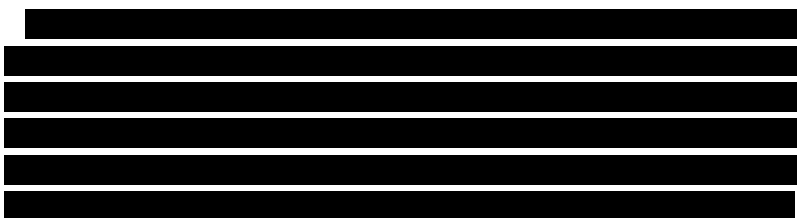
ときめくあなたへ。

お洒落と秘密と運命は、いつだって乙女のいちばんの武装なのです。

大正時代の銀座の街頭を歩く人々の服装は、男性は和服が33%で洋服は67%、女性は和服が99%、洋服は1%だったという。

これは、そんな時代のなか、特別な裁縫道具を使ってこっそり自分のための洋服を仕立てる、少女たちの話です。

03. シナリオ背景



06. PL 向け事前情報

探索者について

探索者は女学生であり、共通の友人に「文月 朔子^{ふみつき さくこ}」が存在する。

「文月 朔子」は高等女学校高等科(※注)に通う18歳の少女であり、家柄もよい。新しい流行や噂話を積極的にもちかけては探索者たちへ共有する、探索者グループの中心の人物だ。

探索者のことを妹のように可愛がり、あるいはよき友人として大切に接しているだろう。また、物語の舞台は大正12年の8月のおわり頃、帝都(東京/神田)である。

(注:大正9年から設置された、従来の高等女学校専攻科卒業者が修行できる科のこと)

探索者作成ルール

年齢は12～16歳、EDUは10固定とする。

職業技能の取得方法については、以下のいずれかを選択すること。

〈1〉本シナリオオリジナル職業:「女学生(華族)」

[応急手当,聞き耳,図書館,芸術(裁縫/歌唱/料理),言いくるめ,信用,英語,+
その他個人的な関心の技能ひとつ]

〈2〉サプリメント「クトゥルフと帝国」:「女学生」より作成

時代背景について

第一次世界大戦を経て、当時の日本、特に都市の市民生活は大きく変化した。さまざまな娯楽が生活の一部に迎えられるようになり、文化が大きく開けるようになったのもこの時代である。

服装においても、大正末期には洋装化が進みはじめたが、対象は主に男子であった。当時の銀座の街頭を歩く人々の服装は、男性は和服が33%で洋服は67%、女性は和服が99%に対し洋服は1%だったという。当時の女性の洋装といえば、主に女子学生のセーラー服や職業婦人の制服であったが、関東大震災以前の女性の洋装化は遅れており、社会進出をはたす女性も少なかった。

07. プロローグ

夏は生きものであると教えてくれたのは、誰でしょう。

春は訪れ、夏は終わり、秋は過ぎ、冬は越える。

わたしたちより、はるかに悠然と大人になっていく四季折々のなかで、夏だけはいつも新しい顔をして、毎年海の向こうから、やってきます。そうして、きちんとすまし顔のまま、火照ったからだをだんだんと横たえて、ぼつんと、死ぬようにお別れを告げてから、つめたい夜の海の底へさらわれていきます。

夏だけが、いつも、わたしたちに、さようならを知らせてくるのです。

それを、昔のひとたちも、わかっていたのでしょうか。だから、夏は終わるというのでしょうか。それで、誰かがたとえて、夏は生きものであると、言ったのでしょうか。

【潮騒 - しおさい】

潮が満ちてくるときの、波の騒ぎ立つ音。

【月見里 - やまなし】

日本の苗字、地名の一種。

読みの由来は「月が見える里には山が無い」という見晴らしのよい情景を表す言葉から。

ムーサ異装展覧界参加作品

「潮騒に月見里」

これは、そんな、終わりかけの夏に生きたわたしたちと、特別な裁縫道具のおはなしです。

08. 導入

時は大正十二年の八月の終わり頃、あなたたちは熟れきった果実のしなびるような気がはためく帝都で、いつもと変わらない日々を過ごしていた。頭の芯までぼおっと茹だりそうな……と表現するにはやや過ぎた頃合い、それでもつい先日まではアブラゼミが情熱的だった、そんな、しばみかけの夏の季節。あなたたちは、友人「文月 朔子」に誘われて、この日、彼女の邸宅へと向かう予定があった。

文月朔子はあなたたちに共通の友人で、あなたたちの通う高等女学校を卒業してからも、つい最近につくられた「高等科」へと進んだ少女だ。新しい流行や噂話を積極的にもちかけたり、雑誌の恋愛小説と一緒にどきどきしながら読んだり、ちょっとした相談事やお菓子や布の端切れやらを分け合ったりしてきた。

そんな瑞々しい彼女のもとへ向かうあなたたちの心は、水浴びのようにきらめいているかもしれない。

手土産の用意

PL 情報

文月朔子の家へ向かう前に、好きな手土産をひとつ用意することができます。探索者全員で相談して背伸びしたものを用意してもいいですし、それぞれ秘密に用意してわくわくしても構いません。

ちなみに、大正時代の都市部では生活文化の洋風化が急速に進んでいました。たとえばお菓子で言えば、ゼリーやクッキー、パバロアといったものがハイカラなものとして受け入れられ、水菓子(フルーツ)も華族をはじめとする裕福な人々によって、より身近なものとして楽しまれていました。とはいえ、それはあくまでも当時の最先端のお話。多くの人に馴染みがあったのは、お団子やおまんじゅうといった和菓子です。

文月邸

門前の呼び鈴を鳴らせば、しばらくして小間使いがあなたたちを迎え入れる。文月家の邸宅は小綺麗に整えられており、百日紅や桔梗の花が品よく植わっていた。庭の植物は、どれも夏のじんわりとほどける風を受けて照りかえっている。

玄関をくぐれば、陽射しが遮られるぶん、すうと肌や髪がぬるくなることだろう。

邸内では、あなたたちが来るのを心待ちにしていたのであろう、顔をぱっとほころばせた文月朔子がいた。

「ようこそ、いらっしゃい！ 暑かったでしょう。どうぞ、こちらへいらっしゃいな」

21. クレジット・注意書き

本シナリオの無断転載および複製、二次配布、インターネット上へのアップロードを禁止します。

シナリオを元にした派生物(リプレイ、小説、イラスト等)はシナリオのネタバレに配慮し、皆様の快いTRPGプレイングにご協力をお願い致します。

本シナリオを使用したことで発生した問題について、作者は一切の責任を負いません。ご了承ください。

本シナリオの内容はフィクションであり、実在する人物、団体、事件等は一切関係ありません。

[制作]

七篠 K

[Special thanks]

ムーサ異装展覧会参加作品より

(敬称略・順不同)

『Utopium に死す』

しらぬま彼方 | <https://twitter.com/kyokyork>

『爛爛』

つきのわむく | <https://twitter.com/tukimeguri>

『Stigma ノ狂騒』

ヘディック | <https://twitter.com/hedhiku11>

『然らば永劫、見よ美し』

かあこ | <https://twitter.com/nisekaako>

『STROBE』

茶々丸 | <https://twitter.com/matumarul232>

『NPC ムーサ』

島野おにく | https://twitter.com/Ma_trpg_me

本作は、「株式会社アークライト」及び「株式会社 KADOKAWA」が権利を有する『クトゥルフ神話 TRPG』の二次創作物です。

Call of Cthulhu is copyright (C)1981, 2015, 2019 by Chaosium Inc. ;all rights reserved.

Arranged by Arclight Inc.

Call of Cthulhu is a registered trademark of Chaosium Inc.

PUBLISHED BY KADOKAWA CORPORATION

SPLL : EI19628